

1 実施方法

学校関係者評価委員会（学校評議員会）において、自己評価、保護者アンケート、生徒アンケートの結果等を資料として示し、自己評価や学校運営、教育活動全般における取組が適切に行われているかどうか評価を受けた。

2 実施日時

令和7年2月4日（火）

3 学校関係者評価の結果(学校評議員からの所見および指導助言)

- (1) 自転車のヘルメット着用は努力義務であるが、安全面を考慮して、高校生に対しても着用指導をした方が良いのではないかと。
- (2) 制服を変更するにあたっては、価格を抑えるだけでなく、女子のスラックスを導入するなど、機能面や多様性への対応も大切である。
- (3) 校則を変更するのであれば、その内容を家庭に示す必要がある。
- (4) 早朝補習の廃止に伴う懸念事項や学習指導上の課題への対策をお願いしたい。
- (5) 大学では文理融合型の学科も増えている。これを踏まえたうえで、授業を中心とする学校の教育活動を工夫して行ってほしい。
- (6) 定時制においては、中学校で出席率の低かった生徒が高校では登校できており、高い出席率を継続できている。
- (7) 「生徒が自ら考えて行動する」といった、生徒の主体性を育む取り組みを学校生活の中にどんどん取り入れて行ってほしい。
- (8) 生徒数は減少していくであろうが、五島高校での大学入学共通テストの実施はぜひ継続してほしい。
- (9) 離島留学制度を活用して入学してくるスポーツコースの生徒を中心に、さらなる部活動の活性化と結果に結びつくような指導を期待している。
- (10) 先生方の研修に力を入れるべきだと思う。特に、特別支援教育は重要である。ユニバーサルデザイン目線で全生徒を見てほしい。

4 3を受けての学校側の確認・対応等

- 自転車のヘルメット着用に関しては、集会等での声掛け、警察からの呼びかけ等を行っている。今後も指導を継続していきたい。
- 女子のスラックスを希望制で導入することで、男女間でのおさがりが可能になる。丸洗いも可能である。また、体操服も一新できないか思案中である。価格が現状と比較して跳ね上がらないように心掛けたい。
- 頭髪について、今年度から男女共通で同じ規定に変更した。2・3年生に対しては令和5年度の3月に説明し、新入生に対しては新入生向けの資料に掲載した。他の項目についても、時代に即したルールに変更していきたい。
- 今後も、総合的な探究の時間や各教科の授業において、これまで以上に文理横断型の授業展開を意識した取り組みを行っていきたい。また、ICT活用の推進と取組の検証に努めていきたい。
- 全日制、定時制ともに五島高校の教育活動に対する地域からの高い評価や大きな期待が感じられた。その期待に応えていきたい。
- 中学校時には朝早く起きられなかったが、定時制の始業が夕方からであることで対応できている生徒も多いようである。アルバイトを始めたことで起きる習慣が身に付いた生徒もいる。
- 学校行事の企画や運営を教員側から手放し、少しずつ生徒に担わせていっている。今後も「生徒が自ら考えて行動する」場面を増やしていきたい。
- 大学受験において離島であることが不利にならないように、大学や県教育委員会と連携し継続できるように努めていきたい。
- 人口減・生徒数減の現況ではあるが、生徒募集、生徒数確保に努めていきたい。離島留学制度、衛生看護科についても県内外における説明会への企画や中学校訪問等を行い、五島高校の魅力をこれまで以上に発信していきたい。
- 今後、特別支援を必要とする生徒も増えていくのではないかと見ている。教員の知識の醸成とケーススタディ研修の奨励等、働きかけていきたい。
- 学校の様々な教育活動に生徒が主体的に参加し、各状況下で調整できる力や困難を乗り越えようとするタフさを身に付け、自走できる生徒の育成をこれまで以上に推進していきたい。